

STEP

岐阜県立東濃特別支援学校
進路通信NO. 2
平成30年7月13日発行

新学期が始まったと思ったら、もう来週から夏休みに入ります。夏休みは、ご家庭でご家族と過ごす時間がたくさんあります。お子さんと一緒に、家事やボランティア活動に取り組んだり、卒業後の生活について考えたりされてはいかがでしょうか。



小学部高学年 委員会活動



小学部5年生から委員会活動が始まりました。中学部、高等部の委員会に入って一緒に活動します。ボランティア委員では、ペットボトルのキャップの分別をします。第1回目の委員会では、活動内容や、ペットボトルのキャップが集まっている場所を知ったり、綺麗なキャップと汚れがついているキャップの分別をする体験をしたりしました。始めは、普段あまりかかわりのない先輩たちの中で活動することに緊張していた小学部の児童ですが、次第に全校のために活動するという責任感が芽生えたり、次回の活動を楽しみにしたりする姿が見られるようになりました。

小学部では、クラスや学部のために活動することはありますが、全校のために働く機会はなかなかありません。委員会活動を通して、より多くの人のために活動したり、中学部や高等部の先輩の活動する姿を見て学んだりするよい経験になっています。



中学部 第1回作業学習集中週間

6月11日(月)～15日(金)に第1回作業学習集中週間があり、普段の作業学習より長い時間作業学習に取り組みました。①挨拶や返事をする。②服装、身だしなみを整える。③時間を守る。④掃除や片付けをする。の4つの目標を意識して作業学習を行いました。

< 作業の様子 >

【ひまわり工房】



【きつつき木工】



【こねこね窯業】



【さわやか工房】



どの作業班でも、機械や道具を安全に使用しながら、
集中して作業学習に取り組むことができました！



高等部3年生 現場実習

6月11日（月）～22日（金）の2週間、福祉サービス事業所や一般企業の協力のもと、現場実習を行いました。卒業後の生活を見据えて自分の目標を設定し、卒業後「ここで働きたい！」という強い願いをもって取り組むことができました。

今回の現場実習を通して見つけた課題については、普段の生活からもう一度見つめ直し、9月の現場実習・卒業後の進路に向けて改善できるよう意識して生活していきましょう。

【現場実習の様子】



【生徒の感想】

私は、現場実習で『心音ケアセンター瑞浪』へ行きました。利用者さんとお話したりレクリエーションのお手伝いをしたりしました。働く上では、自分の体調を管理し、相手に伝えることが大切だと学びました。9月の実習に向けて、自分の体調や自分の思いを相手に伝えることに取り組みたいです。

僕は、『株式会社ライフスタイルシティー』で実習をしました。絵のデザインとタイピングとミーティングをしました。2週間の実習を通して、働くことの厳しさや声を出すこと、不安なときはメモをすることの大切さを学びました。これからの学校生活でも、「この会社で働きたい」という気持ちを忘れず課題を克服していきます。

高等部2年生 マナー講座

『Man to Man株式会社』の方にお越しいただき、「学生と社会人の違い」「社会人の基本」「実習先での心構え」についてのお話を聞きました。実習の経験が少なく、働くことや卒業後の生活についてまだぼんやりとしたイメージしかない生徒たちにとっては、7月の現場実習や企業内作業学習に向けて、気持ちを切り替えるよい機会となりました。「学生のうちにひとつでも多く『できる』をつくることが大切」と教えていただいたので、自分の目標をしっかりと立て、取り組めるとよいと思います。



〈学生〉

自分のために

勉強して、学習して、たくさんの知識や経験を身に付ける

〈社会人〉

人や組織、地域、社会のために

知識や経験、技術を活かす(使う)